

よくある質問

AVDFハイブリッド・クラウド環境

Oracle Audit Vault and Database Firewall (Oracle AVDF) は、データベース、オペレーティング・システム、およびディレクトリのデータベース・アクティビティ監視イベントと監査データを統合する場合に役立ちます。Oracle AVDFはオンプレミスだけでなく、オンプレミスとクラウドの両方にデータベースがあるハイブリッド・クラウド環境でも監査データを統合するためのソリューションをお届けします。このドキュメントでは、AVDFハイブリッド・クラウド環境に関するよくある質問を取り上げます。

AVDFハイブリッド・クラウド環境モデル

Q: AVDFハイブリッド・クラウド環境とは何ですか。

A: オンプレミスに展開されたOracle Audit Vault Serverは、Oracle Database Cloud Service (Oracle DBCS) とオンプレミスの両方から監査データを収集できます。オンプレミスのAudit Vault Agentを利用して監査データをOracle DBCSのデータベース・インスタンスから収集します。現在、Audit Vault Serverは従来の監査、ファイナグレイブ監査、Oracle Database Vault監査、Unified Audit (12cのみ) のデータを、クラウド・データベースの表ベースの監査証跡のみから収集します。

Q: Audit Vault Agentは具体的に何をしますか。また、どのように展開するのでしょうか。

A: オンプレミスのAudit Vault Agentは、暗号化されたチャネルを介して1つ以上のDBCSインスタンスから監査データを取得し、オンプレミスのAudit Vault Serverに送信します。Audit Vault Agentのプラットフォーム・サポートについては、こちらの[リンク](#)をクリックしてください。

単一のAudit Vault Agentを介して、オンプレミスとクラウド・データベース・ターゲットの両方から監査データを収集できます。DBCSインスタンスから監査データ

を収集する専用のAudit Vault Agentを使用することをお勧めします。これはおもに、簡単な管理とメンテナンス用の場合です。

Q: Audit Vault Agentをクラウド・データベースに接続するためのネットワーク要件は何ですか。ネットワーク・ファイアウォールでポートを開く必要がありますか。

A: TCP接続ポート1521、TCPS接続ポート1522の場合、DBCSインスタンスで開く必要があります。オンプレミスのネットワーク・ファイアウォールでポートを開く必要はありません。

Q: DBCSインスタンスとオンプレミスのAudit Vault Agent間でトラフィックはどのように暗号化されるのですか。

A: エージェントがDBCSインスタンスにどのように接続されるかに応じて、トラフィックはOracleネイティブ暗号化またはTCPS接続用のTLSを使って、SQL*Net over TCP用に暗号化されます。

Q: DBCSインスタンスではどのような構成ステップが必要ですか。

A: データベースがすでにSQLnetトラフィックを待ち受けている場合、追加のステップは必要ありません。それ以外の場合、構成ステップは次のとおりです。

- Audit Vault AgentとDBCSインスタンス間のSQL*Net/TCP接続の場合、Audit Vault Agentが監査データを読み取れるように、DBCSインスタンスのデフォルトのリスナー・ポート1521 (またはリスナー用に構成されたポート番号) を開きます。暗号化されたTCP接続のみがサポートされます。

- Audit Vault AgentとDBCSインスタンス間のTCPS接続の場合、Audit Vault AgentがTCPS (SQL*Net/TLS) を使って監査データを読み取れるように、DBCSインスタンスのデフォルトのリスナー・ポート1522(またはリスナー用に構成されたポート番号)を開きます。

こちらの[リンク](#)の説明に従って、DBCSリスナーのAudit Vault AgentのIPアドレスのホワイトリストを作成することをお勧めします。

Q: Audit Vault AgentをOPCにインストールすることはできますか。

A: 現在、Audit Vault Agentはオンプレミスのみでインストールできます。ただし、Oracle DBCSでのAudit Vault Agentのインストールをサポートする予定です。

Q: 1つのAudit Vault Agentでいくつのクラウド・ターゲットをサポートできますか。

A: Audit Vault Agentのハードウェア構成に基づき、1つのAudit Vault Agentで毎秒最大3,000の監査レコードを読み取ることができます。監査データ量がさらに多い場合、追加のAudit Vault Agentをオンプレミスに展開する必要があります。推奨されるAudit Vault Agent構成については、[こちら](#)を参照してください。

Q: Audit Vault Serverによる監査データ収集には、どのOracle Cloud Database Serviceがサポートされていますか。

A: 現在、監査データはOracle DBCSおよびOracle Exadata Cloud Serviceインスタンスから収集できます。

Q: ハイブリッド・クラウド環境をサポートするのはどのバージョンのOracle AVDFですか。

A: ハイブリッド・クラウド環境はOracle AVDF 12.2.0.2.0 (12.2 BP2)以降でサポートされています。それ以前のリリースの場合、この機能を使用するには、最新のAVDFリリースにアップグレードする必要があります。

Q: オンプレミスのAudit Vault Serverは、Amazon AWSまたはMicrosoft Azureのデータベース・インスタンスから監査データを収集できますか。

A: オンプレミスのAudit Vault Agentがクラウドのターゲット・データベースに接続されていれば、監査デー

タを収集できます。Audit Vault AgentがVPCまたはVPNのデータベース・サーバーにインストールされている場合、オンプレミスのAudit Vault Serverに接続して監査データを収集できます。

クラウド・データベース・ターゲットでの監査設定

Q: DBCSインスタンスにはどのような監査ポリシーがありますか。

A: 複数のオプションがあります。

- Oracle 12cで統合監査証跡を有効にしている場合、事前構成された一連の監査ポリシーが作成され、その一部が有効になっています。ユーザーはこの情報をDBCSインスタンスで直接確認する必要があります。統合監査証跡の事前構成済み監査証跡のリストについては、[こちら](#)を参照してください。

- Oracle 12cで統合監査証跡を有効にしていない場合、ユーザーは有効化された監査ポリシーをAudit Vault Serverで、またはDBCSインスタンスで直接確認できます。

- Oracle 11g Release 2の場合、ユーザーは有効化された監査ポリシーをAudit Vault Serverで、またはDBCSインスタンスで直接確認できます。

Q: 監査データがOracle AVDFによって収集された後、どのようにクラウド・ターゲットにパージされるのですか。

A: オンプレミス・データベースの場合と同様に、Audit Vault Agentは監査証跡管理用のDBMS_AUDIT_MGMTパッケージをクラウド・データベース・ターゲット上で起動します。実際の監査データのパージはユーザーがスケジューリングする必要があります。

オンプレミスAVDF環境の機能の比較

Q: クラウド・ターゲットとオンプレミス・ターゲット間で、レポート、アラート、データ保持の機能に違いはありますか。

A: これらの機能は同じです。

Q: オペレーティング・システムとActive Directoryの監査証跡は、ハイブリッド・クラウド環境のシナリオの監査データ収集でサポートされていますか。

A: 現在、オンプレミス・ターゲットのみでサポートされています。

Q: オペレーティング・システムまたはREDOログのデータベース監査証跡は、ハイブリッド・クラウド環境のシナリオの監査データ収集でサポートされていますか。

A: 現在、オンプレミス・ターゲットのみでサポートされています。

Q: カスタム監査コレクタはハイブリッド環境のシナリオでサポートされていますか。

A: 現在、オンプレミス・ターゲットのみでサポートされています。

Q: Oracle Database Firewallのサポートはどうですか。

A: 現在、オンプレミス・ターゲットのみでサポートされています。

製品ライセンスとサポート

Q: AVDFクラウド・ターゲットのライセンス方法を教えてください。

A: 1つのオンプレミス・プロセッサ・ライセンスを2つのOCPUに展開できます。

Q: ハイブリッド・クラウド環境に問題がある場合、問い合わせ先はどこですか。

A: My Oracle Support (<https://support.oracle.com>) にお問い合わせください。

詳細情報

Q: ハイブリッド・クラウド環境へのOracle AVDFの導入に関する詳細はどこで入手できますか。

A: 詳細はこちらをご覧ください。


Q: Oracle AVDFの一般的なFAQはありますか。

A: [Oracle AVDF FAQ](#)はOTNで入手できます。

Oracle Corporation, World Headquarters
500 Oracle Parkway
Redwood Shores, CA 94065, USA

海外からのお問い合わせ窓口
電話：+1.650.506.7000
ファクシミリ：+1.650.506.7200

CONNECT WITH US

 blogs.oracle.com/oracle

 facebook.com/oracle

 twitter.com/oracle

 oracle.com

Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。0318